

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

より自然な音で聞く (ビット・周波数拡張)

高音質モードでのみ設定できます

音源を補完して、より自然な音で再生します。

オーディオチューン画面(P.120)から ビット・周波数拡張**ON**を選ぶ



- ビット・周波数拡張がONになります。
- OFFを選ぶと、設定が解除されます。

お知らせ

- 音源によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- 車両の状態や環境によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- ハイレジ音源のBlu-ray Discを再生するときは、余分な信号が音質に影響を与えないよう「OFF」にしてください。
- オーディオが交通情報の場合は、設定できません。

Gracenote®をアップデートする

1 オーディオチューン画面(P.120)から gracenote®を選ぶ



2 Gracenoteをアップデートする

- 定期更新**→P.110
- ローカルアップデート(定期更新)**を選ぶ
- 個別更新**→P.111
- カスタムアップデート(個別更新)**を選ぶ

■データベースの初期化 初期化▶はい▶はいを選ぶ

- ローカルアップデート・カスタムアップデートの内容がすべて削除されます。

イコライザーの設定をする

イコライザープリセットを切り換える

あらかじめ設定されている内容呼び出して、かんたんにイコライザーを調整できます。

オーディオチューン画面(P.120)から、 呼び出したいイコライザーを選ぶ



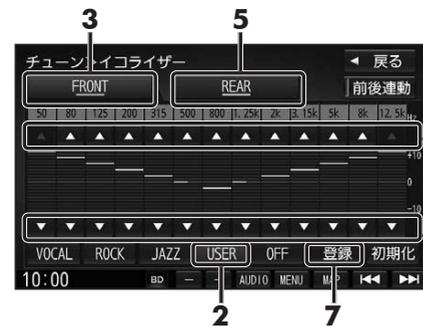
- VOCAL**: 中音域から高音域にかけて強調した音質
- ROCK**: 中音域をやや抑え、低音域・高音域を強調した音質
- JAZZ**: 中音域をやや抑え、低音域・高音域をやや強調した音質
- USER**: お好みで調整した音質(下記)
- OFF**: 土0のフラットな音質

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

イコライザーを詳細に設定する

イコライザーを、お好みの数値に設定することができます。



お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

FIXD

- エフェクトをSRS CS Autoに切り換えると、イコライザーは自動的に「OFF」に切り換わり、設定できなくなります。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、イコライザーを設定できるようになります。

1 オーディオチューン画面(P.120)から イコライザーの**詳細**を選ぶ

2 **USER**を選ぶ

- 初期化: 選んだイコライザーの設定をお買い上げ時の状態に戻す
- VOCAL** **ROCK** **JAZZ**を選ぶと、選んだ項目の詳細設定ができます。(OFFは詳細設定できません。)

3 **FRONT**を選ぶ

- 前席用のイコライザーを設定します。
- 周波数の値が水色で表示されます。
- 前後連動**を選ぶと、前席と後席のイコライザーを連動させて設定できます。

4 各周波数の値を▲▼で設定する

5 **REAR**を選ぶ

- 後席用のイコライザーを設定します。
- 周波数の値が黄色で表示されます。

6 各周波数の値を▲▼で設定する

7 **登録**を選ぶ